

佳作
(高校部門)

北海道石狩南高等学校

1年

さいとう
齊藤

はやと
颯渚

友達とは迷惑をかけあうものだ。

中学の友人

私が委員会でミスをした時だった。大きなミスをしてしまったので私はすぐ落ち込み、一緒に委員会の友人に何度も謝った。そんな時に言われた言葉だった。この友人とはいつも冗談を言い合える仲で、面白く、優しい人だった。普段は少し頼りない感じだったが、この時の友人はともかつこよく見えた。私は、いくら仲の良い友人でも迷惑をかけてしまうのは良くないと思って自分一人で解決してしまおうとすることが多かった。でも、この言葉を聞いてからはその考え方が変わった。迷惑をかけるのは良くないけれど、困った時は助け合えるような友人がこれから先増えていけばいいと思うし、この言葉を誰かにかけてあげられるような人になりたい。